

2007年11月号発行 発行元：マガジンを創る社 11月号 500円  
1977年4月号創刊 創刊号 500円

11/1  
2007 No.209  
500  
yen

# pen

with New Attitude

1冊まるごと、  
**現代アート入門!**



別冊付録  
ロレックス  
ターノグラフの  
すべて。



◎トータル飲料コーディネーター。米と酒の歴史、醸造法に生かされる。1988年に渡日し、醸造を学び、ソムリエに。日本酒サービスマスター(SM)理事、「All About」の日本酒・焼酎ガイド(http://allabout.co.jp/gourmet/sake/)の担当も務める。酒造業界のための飲料勉強会・飲料コンサルティングが人気。

# 今宵も一杯

27

杯目 文友田島子

## ふわりとしたスモーキーさが沁みる、 「トリプルモルト」ウイスキー

初めてのウイスキー体験は10歳のこと。すみません、時効つてこととお許しください。もちろん自分から飲んだわけではありません。

当時、仕事の都合で我が家に下宿していた親戚のお兄ちゃん、ウイスキーの水割りで晩酌が大好き。そして大の冗談好き。遅い夕食がたまに「一緒に飲みたい。はい、お茶飲めよ」と茶色い液体がなみなみ注がれたコップを差し出してきた。「珍しく親切だな」と思ったが、せっかくだからありがたく頂戴しようかとグビリ。いやもう辛いのが、口の中がじわーんと痺れて、喉は熱く、鼻は煙っぽくなつてしばらく咳き込み、息も止まった。おまけにちよっぴり涙もにじんできた。なんとウイスキーのストレートだったのだ。兄ちゃんのバカアである。「本当に飲むやつかあるかあ」と、あなたが飲めつて言ったんじゃないか。いまも忘れられない。サントリーの角瓶。事件だ。あれ以来、なんでも最初

に匂いを嗅いで確認してから飲むようになった。そういえば、あの頃は「角」が主流だったなあ。

ウイスキーならではのスモーキーさとか蒸留酒ならではのアルコール感とか後味のふわりとした甘さなんでもものは、当たり前だけど大人でないとわからない。いや、大人というだけじゃなくて、お酒の味やあの味やこの味やらを経験しないとわからないのだからね。

あの頃より大人になり、たぶん十分にお酒を経験したつもりだが、最近美味しいと感じたウイスキーが「モンキー ショルダー」。スパイスの3つのシングルモルトをブレンドしたもの。スコッチ文化研究会の土屋守

会長に、「飲みやすくして癖のないもの」と薦めてもらった。惹かれたのは、まるで柑橘系の果物のような華やかな香りとエレガントなバランス。それに後味の優しいスモーキーフレーバーだ。ボトルの肩にいる3匹のモンキーたちもかわいい。

あのときみたいにコップになみなみではなく、小ぶりのウイスキーグラスに水と半々のトゥウイスアップで飲むのである。ふふふ、私も大人になったでしょ。ピリッと刺激のあるアルコール感もいまの私の舌には心地いい。

酔いがまわるにつれ、冗談好きのお兄ちゃんを思い出した。また「角」飲んでるのかなあ。

### モンキー ショルダー Monkey Shoulder

原産国 スコットランド

グレンフィディック、バレンヴェニー、キニンヴィをブレンドした「トリプルモルト」ウイスキー。かつて盛んだったフロアモルティングの時代に、スコップ作業で働いた職人の裏を「モンキー ショルダー」と呼んだ。



「モンキー ショルダー」が買える店

Liquor Villa AIZAWA

リカーヴィラアイザワ

◎東京都八王子市大塚町570-9

☎042-622-8244

営業時間 14時～19時(火～金) 12時～19時(土、日、祝) ◎月

JR八王子駅北口9番乗り場バスで約20分、

西東京バス第858号バス停そば

